



令和5年度

# 国語

(9 : 30 ~ 10 : 20)

## 注 意

- 1 検査開始のチャイムがなるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙の1ページから14ページに、問題が一から三まであります。  
これとは別に解答用紙が1枚あります。
- 3 問題用紙と解答用紙に受検番号を書きなさい。
- 4 答えはすべて解答用紙に記入しなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

一 次の文章は、建築家である筆者が「動線」について述べたものです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

動線という言葉もしばしば耳にする。

手もとの辞書には「どうせん〔動線〕建物の内外で人や物が移動する方向・頻度などを示す線。居住性・機能性を判定する一指標」〔『広辞苑』第五版〕とあるが、居住性をどうやって判定するかは示されていない。『世界大百科事典』(平凡社)には項目としては出ていないが、①サクインを見ると「動線計画」↓○△頁とあってそれは「停車場」の項で、駅舎の説明の一部として「動線計画は(1)同種の動線はなるべく一括し、異種のものとは明確に分離して、それらの交差を避ける、(2)動線の長さをなるべく短くして、屈曲・昇降・分岐などの少ないわかりやすいものにする、(3)各動線の量と流れの速さに応じた所要幅を確保する、ことなどである。二云々」となっている。

②センモン用語として『建築大辞典』(彰国社)を見ると、「どうせん 動線 : traffic line 建築空間における人・物などの運動の軌跡、運動量・方向・時間変化などを示した線。」「どうせんけい 動線計画 : flow planning 建築や都市の設計計画において、人・車などの動線を分析、検討、操作することによって、最適の動

線を得ようとする計画。設計の基礎作業の一つで、一般には動線の長さを短縮し、異質の動線を交錯させないように計画される。」となっている。

traffic line, flow planningとも目にすることのない言葉だが「建築計画」の分野でつかわれる用語なのだろうか。

が、それはさておき、平面図などで、こことこここの動線が長い、不便である、などと学校の先生や役所の人などが指摘されたりする。「動線は短くなくてはならない……」と思い込んでいる人は多いようである。

動線のもっとも短い居住空間は刑務所の独房であろう。就寝・食事・排泄などが一室で行われるから動線はきわめて短く、ほとんど概念そのものが成り立たない。便利といえば便利であるにちがいないが好んで入房を望む人は少ないであろう。

住宅などでも、まん中に居間・食堂を設け、まわりに寝室・個室・キッチン・トイレ・風呂などをズラリととりかこむように配すれば廊下がいらなくなるから、動線という観点からはまことに便利なプランが出来あがる(ホール型といって巧妙に計画すれば③ミリオク的な空間もつくりうる)。

しかし一般的には、トイレやお風呂に居間から直接出入りするの

が寝巻き姿で居間を横ぎる、などというのも行儀が良いとは言えない。トイレなどは、手入れのよい庭などをうち眺めながら、ちよつと離れたところまで出掛けて用を足す方が気分がはれる。そこにもまた坪庭注1などがあればなおのことさわやかである。風呂とて同じこと。寝室や書斎なども、ちよつと「離れ」注2のようになっている方が落ち着いて眠ったり考えたり出来る。

このように、動線というものはただ短ければよい、というものではない。そこへ「快・不快」の観点をかさね合わせて考えなければ、ほとんど意味のない概念である。

快適な動線をより長く、不快な動線はなくする、というのが計画の基本である。

「動線をなるべく短く、屈曲・昇降・分岐などを少なく」したりしたら回遊式庭園などというものは成り立たない。

かざられた敷地に、起伏・遮蔽・隔離しゃへいなどの工夫をこらして「紆余曲折」よぎくせつをつくりあげ、思いもかけぬ景が次々に展開する、というところに回遊式庭園の妙味注3がある。動線をいかに長くとるか、分岐を巧みにしつらえるか、高低差をつけて見上げ見下ろしの変化をつくり出すか、などに設計の力点がおかれる。駅のコンコース注4とはまったく反対の原理でつくられていて、人々はその演出の巧みさにおどろき、楽しむ。

なにも庭にかぎったことではない。住宅や幼稚園・学校・大学・お役所など、3どこでもこの原理はとり入れられるべきである。

動線の意味をとりちがえたために、世の中全体が駅のコンコースの原理でつくられてしまっているところにも、無意識に人々が、緑不足を感じている面があるかもしれない。注5

駅自体にしても、なにも人を迅速にさばくだけが能ではない。急がない旅もあるし、大急ぎでかけつけて一つ④キシャに乗りおくれ、時間が空いたりもする。そういうときに見る駅舎空間のなんと、注6さくばくたることか。

基本の流れはしつかりしていなければならないが、そここにパイパスやよどみのような気持ちのよい場所があつて、総体としてもつと快適で楽しい場所であつてしかるべきであろう。注7

動線という言葉には、常に視線という言葉をかさね合わせ、そこからなにが見えるのかを「分析・検討・操作」することによつて、「最適の視線的・視覚的快適さを得ようとする」のが「設計の基礎作業の一つ」である。

視線計画をともなわない動線計画は、ほとんど無意味であり多くのばあい弊害の方が大きい。

(たき灌光夫「建築と緑・改訂版」による。)

(注1) 坪庭||周囲を建物に囲まれた中庭。

(注2) 離れ||家の主要な建物から離れて建てた、座敷のある建物。

(注3) 妙味||非常にすぐれたうまさ。

(注4) コンコース||駅や空港などの、通路を兼ねた中央ホール。

(注5) 緑||ここでは植物も含めたオープンスペースのこと。

(注6) さくばく||心が満たされないで寂しい様子。

(注7) バイパス||ここではわきの道のこと。

1 ①④のカタカナに当たる漢字を書きなさい。

2 1 軌跡 と熟語の構成が同じものを、次のア～エから選び、その記号を書きなさい。

ア 内外    イ 異種    ウ 基礎    エ 不便

3 2 最適の動線 とあるが、文章中の駅の動線はどのような目的を達成するために最適となっていますか。解答欄に合う形で文章中から十字以内で抜き出して書きなさい。

4 3 どこでもこの原理はとり入れられるべきである という筆者の考えに適しているものを次のア～エの中から全て選び、その記号を書きなさい。

ア 二階から庭を眺めることができるように、ベランダを庭側に設けている住宅

イ 園児の様子を安心して見守ることができるように、教室から食堂とトイレが見える設計になっている幼稚園

ウ 生徒が落ち着いて読書や勉強に取り組むことができるように、木々に囲まれた離れた場所に図書館がある学校

エ 利用者の混雑を抑えることができるように、各窓口への案内を矢印で床に示している役所

5 白星高校生徒会執行部は白星城の改修完了記念の披露イベントに参加し、独自企画を提案することになりました。【資料1】は、執行部が顧問の赤坂先生に提出した企画書で、【資料2】は、それに赤坂先生が書き加えたアドバイスです。これらを読んで、(1)・(2)・(3)に答えなさい。

【資料1】

白星高校オリジナル企画「白星城フォトラリー」

白星城周辺の四か所にチェックポイントを設置し、参加者はそこから見える天守を写真に撮る。最終地点の天守前広場から撮った写真を加えて五枚揃そろったらゴール。

〈チェックポイント〉

【A】 南側登城口

実際には、駅北口正面の登城口からは、新幹線ホームから見えていた天守はほとんど見えない。城門にたどりつくには、西へ向かう坂を上らねばならず、上っている途中も天守は見えないままなので、どんな写真を撮るか参加者の判断に任せる。

【B】 西側の日本庭園内の休憩所

城門は使わずに、庭園へ下らせる。当然天守からは遠ざかることになるが、休憩所からは庭園も含めた景観が望めるので、美しい構図の写真が撮影できる。庭園は回遊式なので、歩くと距離は長い。

【C】 北側の駐車場入口

庭園から一旦外に出て駐車場に行くと、今回の改修工事の目玉である北面の鉄板張りが間近に見られる。正面の白壁とは対照的な真っ黒な壁がインパクトを与え、天守の新しい姿を撮影できる。

【D】 東側の参道石段

石段を上りきると天守前広場に出る。石段から天守が見えているので、一段上るごとに天守の姿が大きく見えてくる。また、右手には重要文化財である櫓やぐらも見え、江戸時代初期から続く城の歴史を感じながら撮影できる。

〈企画の意図〉

★「視線計画をとまなう動線計画」を立てる

参加者にとつての（ I ）がともなった動線を計

画するために、参加者の視線を（ II ）ことが必要

★参加者に白星城周辺を散策してもらいながら、東西南北の全方位と動線から（ III ）を楽しんでもらう

【資料2】

授業で読んでいた文章にあった回遊式庭園の例を参考に、よく計画されていると思います。しかし、（ IV ）ということを意識した結果、高齢の方や体の不自由な方が参加しづらい計画になっていませんか。たとえば、チェックポイント【B】の城門を、状況に応じて通れるように開いておくなど、コースを複数選択できる工夫を検討してみてもどうでしょうか。

(1) 【資料1】の( ) I ( )に当てはまる適切な表現を十五字以内で、( ) II ( )に当てはまる適切な表現を十字以内で、それぞれ文章中から抜き出して書きなさい。

(2) 【資料1】の( ) III ( )に当てはまる表現を、十字以内で考えて書きなさい。

(3) 【資料2】の( ) IV ( )に当てはまる適切な表現を十一字で、文章中から抜き出して書きなさい。

問題は、次のページに続きます。

二 次の文章は、日本の「ことば」の総合研究機関である国立国語研究所（略称 国語研）に寄せられた質問に、国語研の関係者が回答したものです。質問は「南米から来た人を『地球の裏側からのお客様です』と紹介したら、配慮を欠いた表現だと指摘されましたが、なぜでしょうか。」というものでした。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

「裏」という語には、「裏取引」「裏番組」「裏ルート」などの例でも分かるように、「隠れた」「目立たない」「正式でない」などマイナスのイメージを①伴う場合があります。

A、そのことだけが直接の理由で配慮を欠いた表現となる  
と考えるのは早計です。 B、「裏側」という語自体は、「月の

裏側の写真」「ひざの裏側が痛む」などのように、物理的な位置関係を表している場合には、マイナスの印象は感じられないからです。

したがって、語の持つイメージよりも C、どういふ文脈で「裏側」を使っているかということに着目すべきでしょう。

「地球の裏側」は「月の裏側」と同じく D と考えれば、中立的な表現であり、何ら問題はないはずですが。しかし、文脈における意味を理解するためには、次のような違いにも注意する必要があります。

(1) 月はいつも地球に対して同じ面を向けているので、地球から見た場合、表側と裏側が固定されている。それに対して、地球は E。

(2) 月には人間が住んでいないが、地球には人間が住んでいて、民族や国家が形成されているため、地域とそこに住む人間とが結びついてとらえられがちである。

これらを踏まえると、問題の文脈における「地球の裏側」は、自分たちのいる場所すなわち日本が「表側」であり、南米が「裏側」であるという関係になっていることが分かります。

逆に、南米から見れば、南米が「表側」で、日本が「裏側」になりますから、両者の関係は全く F 的なのです。にもかかわらず、日本を中心に ② 据えた一方的な表現をしたために、価値判断につながるような差を感じさせてしまっているところに問題があり、「配慮を欠いた」という指摘につながるのです。

布地や ③ 紙幣などのように、物理的に表と裏が決まっているものについて「裏」と言った場合は、価値判断を伴わない中立的な表現になります。

しかし、表と裏の関係が F 的にしか決まらない物事について



て「裏」（あるいはそれと対になる「表」も含む）を使って表現した場合、「裏」の持つマイナスのイメージと共に解釈され、両者の間に優劣の差があるかのような印象が生じる恐れがあります。

特に、人や地域などに関しては、その違いを導入することが<sup>④</sup>妥当であるかどうか<sup>1</sup>十分な吟味が必要です。一例ですが、新聞等で、「日本」「裏日本」をそれぞれ「太平洋側」「日本海側」と言い換えるようになったことも参考になるでしょう。質問の例のような場合は、「地球の反対側」とすれば、中立的な表現になります。

「地球の裏側」のような事例を考える際に重要なのは、ものを見たりに考えたりするときの基準をどこに置いているかを確かめることです。だれしも自分を基準にして物事を考え、表現しがちですが、文脈によつてはそれが適切でない場合があります。相手の立場から見たら、この表現はどう感じられるか、という配慮が必要です。

相手の立場に立つためには、相手がどのような状況にあるのか、どのような考えを持っているのかなど想像力を働かせなければなりません。<sup>2</sup>円滑なコミュニケーションは相手への配慮の上に成り立つと言えます。

（国立国語研究所編「日本語の大疑問」による。）

1 ①～④の漢字の読みを書きなさい。

2  A  C に当てはまる最も適切な語を、次のア～

エの中からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

ア むしろ イ しかし ウ たとえば エ なぜなら

3  D に当てはまる表現を、文章中から十五字以内で抜き出して書きなさい。

4  E に当てはまる表現を、十五字以内で考えて書きなさい。

5  F に当てはまる最も適切な語を、次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。ただし、 F にはどちらにも同じ語が当てはまりません。

ア 対象      イ 抽象      ウ 絶対      エ 相対

6 <sup>1</sup>十分な吟味が必要ですとあるが、「地域」に関して十分な吟味が必要なのはなぜですか。「価値判断」という語を用いて、百字以内で書きなさい。

とあるが、相手への配慮について、「日本語にあまり慣れていない外国人と日本語で話すとき、伝わりやすいように気をつけるべき点を教えてください。」という別の質問が寄せられています。

これに対して【資料】のように、外国人に慣れていない人が、外国人と話すときに多く使っていた方法が紹介されています。また

【例】はその方法を使う前と後のものです。( I I )  
( III )に当てはまる表現を、それぞれ考えて書きなさい。

【資料】

○外国人に慣れている人が、外国人と話すときに多く使っていた方法

- ・ ( I ) また、文の終わりをはっきりさせる。
- ・ 簡単な言葉に言い換える。
- ・ 相手が自分の話を理解しているかどうか確認する。

【例】

○使う前

窓 口… えっとー、あとですね、この制度を利用される場合なんですけど、こちらに出していただく書類があつて、そちらのほうに記入していただくような形になると思いますが、とりあえず今日は受付をさせていただいて…。

○使った後

窓 口… この制度を利用しますか？  
 外国人… はい。  
 窓 口… じゃ、ここに書類があります。ここに ( II )  
 ください。まず、今日は受付をします。( III )。

問題は、次のページに続きます。

三 次の[A]と[B]は、室町時代の能役者である世阿弥の能楽論書から引用した文章です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

[A]

しかれば、当流に万能一徳の一句あり。  
注1 まんのういっどく

1 初心不<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>忘。

この句、三ヶ条の口伝あり。  
くでん

是非初心不<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>忘。

時々初心不<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>忘。

老後初心不<sub>レ</sub>可<sub>レ</sub>忘。

この三つ、よくよく口伝すべし。

師の口伝を受けるべきだ。

一、是非 初心を忘るべからずとは、若年の初心 を忘れずして  
善悪を問わず

身 今<sub>レ</sub>の身 に持ちてあれば、老後にさまざまの徳あり。「前々の非を知るを、  
功徳

後々の是とす」と言へり。「2 先車のくつがへす所、後車の戒め」と云々。  
うんぬん

初心 を忘るるは、後心をも 忘るるにてあらずや。  
注3 後心をも  
初心時代の未熟さ 今の芸への反省をも 忘れていくことではないか。

功成り 名遂ぐる所は、能の上がる果なり。  
芸が完成し 名声が確立するのは、能が次第に向上する結果である。

上がる所を 忘るるは、初心へかへる 心をも知らず。  
その向上の過程 逆戻りする 自覚できない。

初心へかへるは、能の下がる所なるべし。しかれば、今の位を  
それゆえ

忘れじ がために、初心を忘れじと工夫するなり。  
忘れまいとする 努めるのである。

かへすがへす、初心を忘るれば初心へかへる 理を、よくよく  
ことわり くれぐれも 道理

工夫すべし。 初心を忘れずば、後心は正しかるべし。  
研究しなければならぬ。 にいれば

後心正しくば、上がる所の態は 下がることあるべからず。  
わざ 芸は向上する一方、 あり得まい。

これすなはち、是非を分かち道理なり。  
(初心の自覚の有無が後の芸の) 分ける結果

(「花鏡」による。)

[B]

二十四五

(青年期)

この頃、一期の芸能の定まる初めなり。さるほどに、稽古の  
いちご 生涯の芸が確立する初期の段階である。 したがって

境なり。 声もすでに直り、体も定まる時分なり。  
重大な転換期 (変声期の) 体つきも固まる頃

されば、この道に  
能の道 (成功するための)

二つの果報あり。声と身形なり。これ二  
好条件が 姿

つは、この時分に定まるなり。年盛り  
(の役者) に向かふ芸能の生ずる所なり。  
ふさわしい 基盤

さるほどに、  
よそ目にも「すは、上手 出で来たり」とて、人  
そうした果報が備わるため 観客の目 さあ 出現した 観客

も目に立つるなり。  
もと名人などなれども、当座の  
注目する (また、相手が) がつての であつても、その場 (若さの)

花 にめづらしくして、  
立合勝負にも一旦勝つ時は、人も思ひ上  
が観客 新鮮さを感じさせるため 競演の能 一度は 他人も実力以上に

げ、主も 上手と思ひ染むるなり。これ、かへすがへす主のため  
評価し 本人(自分)も 思いこんでしまふ まことに

仇なり。これも、  
の花にはあらず。年の盛りと、見る人の  
害になることだ。 ではない。 若さ

一旦の心のめづらしき花なり。  
まことの目利きは見分くべし。  
一時的に (批判力の優れた) 見分ける

この 頃の花にこそ初心と申す 頃なるを、  
(二十四、五の) (べき) (奥義を) 極めたたる

やうに 主の思ひて、  
はや申樂に 側みたる輪説をし、 至り  
ように 本人がうぬぼれ 早くも猿楽の 正道からはずれた自分勝手な言動をし 大成し

たる 風体をする事、  
あさましき事なり。たとひ、人も褒め、  
だ(名手のような)演じ方 まことに あきれ果てた

名人などに 勝つとも、「これは一旦めづらしき花なり」と思ひ悟りて、  
(競演で)

いよいよ物まねをも 直にし定め、名を得たらん人に事を細かに  
基本の (いっそう) 確実に体得し、 名声

問ひて、稽古をいや増しにすべし。

(「風姿花伝第一 年来稽古条々」による。)

(注1) 万能一徳 万の効能が集約された一つの立派な性質や行い。

(注2) 前々の非を知るを、後々の是とす 以前の欠点を知ること、

後のためのよいこととする、という意の格言。

(注3) 後心 後心 初心の対語。現在の芸、またはそれについての反

省や認識。

1 初心 不レ可レ忘 と同じ意味を表している語句を本文中から十

字以内で抜き出して書きなさい。

2 先車のくつがへす所 後車の戒め とは、「先人の失敗が後人の

教訓になる」という意味です。これとほぼ同じ意味を表すものを次の

ア エの中から選び、記号で答えなさい。

ア けがの功名 イ 人を以って鑑となす

ウ 転ばぬ先の杖 エ 対岸の火事

3 二つの果報あり。声と身形なり とあるが、なぜ「声と身形」が果

報となるのか、その理由を説明している次の文の（ ）に  
当てはまる適切な表現を、十五字以内で書きなさい。

声と身形（体つき）は、二十四、五歳の青年期に定まるもので、年  
盛りの役者にふさわしい（ ）から。

4  に当てはまる最も適切な語を、の中から抜き出して

書きなさい。

5 佐藤さんの学級では、国語の時間に、AとBの読み比べをしました。

その後、佐藤さんたちは世阿弥の考え方が部活動や習い事に対する取  
り組みに通じるのではないかという観点で話し合いを行いました。

次の【生徒の会話】は、佐藤さんの班が話し合いをする過程で行っ  
たものです。これを読んで、あとの(1)～(3)に答えなさい。

【生徒の会話】

佐藤… Aの文章の中に、「初心を忘るれば初心へかへる理」と  
いう言葉が出てくるけど、どういう意味なのかな。

吉田… その言葉の前に、「初心へかへるは、能の下がる所なるべ  
し」と書いてあるから、初心を忘れると能が（ ）  
（ ）ということだろうね。でも、どうしてだろう。

中村… その後に「初心を忘れずば、後心は正しかるべし」とある  
よ。初心を忘れなかつたら、今の芸を正しく認識することが  
できるということだよ。つまり、初心を忘れたら正しい認  
識ができなくなるから、未熟な芸に逆戻りするってことだと  
思うよ。部活動や習い事でも同じことが言えるかも。

吉田… 以前、たまたまプレーがうまくいったことに満足して、基  
礎練習や振り返りをおろそかにしたから、自分の力が試合で  
発揮できなくなったことがあったな。

佐藤… 習い事でもしばらく休んで、その間に何もしないと、せつ  
かく覚えたことを忘れてしまつて、最初からやり直しながら  
こともあるよね。Bの文章の中に、「人も思ひ上げ、主も上  
手と思ひ染むるなり。これ、かへすがへす主のため仇なり」  
とあるけど、これは、自分の力を実力以上だと思つて誤つた認  
識が本人の害になることを言ってるよね。

吉田… 実力以上にうまくできて、どんなに人が褒めてくれても、

「( )」 II ( ) と思って基本を体得し

て、名声を得ている人に指導を仰いで ( ) III

( ) が、正しい「後心」ということになるだね。

中村… 難しいけど、自分の技能を本当に高めていくためには大切  
なことだよね。

(1) ( ) I ( ) に当てはまる適切な表現を、五字以内で書き

なさい。

(2) ( ) II ( ) に当てはまる適切な表現を、**B**の

中から十字以上十五字以内で、抜き出して書きなさい。

(3) ( ) III ( ) に当てはまる適切な表現を、十字

以上十五字以内で書きなさい。